

# 年報

平成26年度

徳島県立図書館

## ま え が き

少子・高齢化の進む一方、人々の価値観は多種多様化しています。県立図書館は県下の中核図書館として、各分野の図書を広く収集し、県民のみなさんのさまざまな要望や調査・研究に応じられるよう取り組んでいます。

昨年度は、グローバル人材育成の推進のため、資料の収集整備に努め、次世代の若者が豊かな感性を醸成し、活躍するために役立つ図書の重点収集を行い、展示コーナーでの貸出しを行いました。

国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料配信サービス」も始まり、県下では唯一県立図書館がサービスを提供しています。

読書推進のために、オリンピックの東京招致や剣山国定公園指定50周年など、時々の話題や関心にあわせたミニ展示を閲覧コーナーで30回以上行い、所蔵資料を紹介し利用していただきました。さまざまな分野で活躍されている徳島ゆかりの方々に心に残った本を紹介していただく「とくしま 私のこの一冊」展は、各方面の方にご協力を賜りながら、展示を開催中です。

また、富士通株式会社の「フィールド・イノベーション」を導入し、業務を見直し、課題を可視化する活動に取り組んでいます。この活動の一環として、昨年11月と今年2月に、図書館の利用に関するアンケートを行いました。こうした活動の結果を、県民の皆様への、より充実したサービスにつなげていきたいと考えております。

徳島県立図書館は、平成27年に文化の森移転新築開館25周年、平成29年度には県立図書館創立開館100周年を迎えます。

今年度もこれらの活動を引き続き行いつつ、徳島県の図書館ネットワークの中核として、県全体の図書館サービスの向上に努めて参りたいと考えておりますので、本冊子をご一読いただきまして、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月

徳島県立図書館長 吉成 学

# 目 次

I	運営の基本方針	1
	平成26年度重点事業	1
II	平成26年度事業計画	2
	平成26年度図書館費予算（当初の）状況	7
	徳島県立図書館資料収集方針	8
	徳島県立図書館資料収集・選定運用基準	10
III	平成25年度事業報告	14
	1 情報支援課関係	14
	2 調査相談課関係	15
	3 資料課関係	17
	4 図書館システム関係業務	19
	5 他機関との連携事業ほか	19
	6 諸統計	24
IV	管理	26
	1 組織機構・職員	26
	2 施設・設備	27
	3 沿革	28
	4 歴代館長	29
V	平成25年度行事記録	30
	データで見る徳島県立図書館の現状	37
	徳島県内市町村立図書館一覧	38
	徳島県立図書館案内図	39
	開館時間・休館日	39
	付録：「徳島県立図書館サービス向上目標（第2期） ～県立図書館サービスの次の展開に向けて～」	1～4

# I 運営の基本方針

- (1) 図書館法とユネスコ公共図書館宣言の理念に基づいて、図書・記録その他の図書館資料を積極的に収集・整理・保存して、地域社会の人々に対する利用に努める。  
また、行政資料を含む郷土資料を積極的に収集保存し、県内における資料センターとしての役割を果たす。
- (2) 市町村立図書館への援助・協力を行い、市町村立図書館と協力してすべての県民への図書館サービスの充実を目指す。  
また、図書館未設置町に対して、図書館の設置を促進し、県内図書館網を充実する。
- (3) 県民の読書活動及び図書館利用を促進し、文化の向上に資する。  
また、すべての子どもの自主的な読書活動を推進するために、関係機関や団体と連携し、資料の充実と子どもの読書環境の向上に努める。
- (4) 公共図書館、大学図書館、学校図書館、試験・研究機関との連携を行い、県民へ資料、情報を提供し、サービスに努める。
- (5) 県民の学習、調査、研究、レクリエーションセンター、生涯学習の場として、県下の図書館網の中核施設として位置づける。
- (6) 阿波学会等地域の学術研究団体と連携し、地域に関する科学的調査に協力し、学問と文化の振興に寄与する。

## 平成 26 年度重点事業

### 徳島県立図書館サービスの充実

徳島県の図書館ネットワークの中核として、広域的かつ総合的な視点で、県民の様々なニーズや課題に的確に対応し、県全体の図書館サービスの向上を図る。

- ア 「とくしまネットワーク図書館」の整備充実、市町村立図書館支援、子どもの読書支援、大学図書館、県外図書館との連携拠点として県内全域サービスをすすめる。
- イ 県下の中核図書館としての機能・役割を発揮するための図書館資料の充実整備に努め、将来の利用を見据えた蔵書の収集・整備を図る。また、子どもの本の資料センターとしての機能充実のために、新刊絵本の全点収集を目指す。
- ウ 未来を切り拓く人材育成をテーマとした図書を収集し、若い世代の利用を促進する。学校図書館との連携を更に推進することにより、若い世代のニーズを把握した資料・情報の提供に努める。
- エ 徳島に関する幅広い資料の収集・充実を図り、地域資料のデジタル化、郷土レファレンスのデータベースや可能な資料の、Web上での公開に努める。また、郷土資料を後年まで伝えるため、資料保存センターとしての機能を充実させる。
- オ 子育て支援、行政支援、仕事応援、健康情報、防災・減災情報等、県民のさまざまなニーズや課題解決の支援に取り組む。また、ホームページやテーマ展示等により情報を発信する。

## Ⅱ 平成26年度事業計画

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
情報支援課 (情報支援担当)	徳島県立図書館協議会	館長の諮問機関として、県立図書館運営の基本的事項を審議する。	協議会委員	年 1 回	諮問事項の審議等。
	徳島県公共図書館協議会	県内公共図書館の連絡協調を図る。	県内公共図書館	理事会 5月中旬、 研修会 年3～4回	活動状況の意見交換や相互協力について検討する。職員の研修会、図書館大会を開催する。
	徳島県読書振興協議会	県内読書推進機関の連携協力を図る。	市町村読書振興協議会 他	年 間	読書振興大会を開催するための援助等を行う。
	協力車の運行	県内図書館間協力のため、協力車により資料の貸出、県内図書館間の相互貸借等を行う。	市町村立図書館・図書館未設置町教育委員会	毎 週	市町村立図書館・図書館未設置町教育委員会からの貸出希望に応じる。
	相談業務	図書館や類似施設等に、相談・助言を行う	県内公共図書館等	年 間	図書館業務全般の情報交換等を行う。
	団体貸出	職場の団体やグループ・学校・施設などに対して、資料を一括して貸し出す。	職場・団体・学校等	年 間	来館して直接選択してもらい、一括貸し出しをする。
	読書会文庫	市町村立図書館、読書グループに、同じ資料を1セット5～10冊編成で貸し出す。	図書館、読書グループ	年 間	貸出期間2ヶ月。図書館を通しての貸し出しも行う。
	町立図書館の設置促進	すべての町に図書館が設置されるよう推進する。	図書館未設置町	年 間	自治体の理事者・教育委員会に対して、その重要性を呼びかける。
	学校図書館への協力貸出	学校図書館からの貸出希望に応じて資料の貸出を行う。学校における図書館活動の活性化に協力する。	県内高等学校及び特別支援学校	年 間	希望校が、最寄りの市町村図書館で資料を受け取れるよう、県立図書館から協力車で運ぶ。
	総合学術調査	阿波学会の協力を得て各々の専門家が地域を定めて科学調査及び研究を行い、文化の推進と地域開発に寄与する。	阿南市	5月・8月 調査	14学会約100名の専門家によって、それぞれの分野で集中的に調査を行う。

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
調査 相談 課 ( 調 査 担 当 )	逐次刊行物の選択・収集・整理	最新の知識情報が得られる定期・不定期刊行物（新聞・雑誌、年鑑、研究報告、議事録、会報、学術誌、政府刊行物等）を選択・収集し、整理する。	一 般	年 間	逐次刊行物は継続的に収集し、保存のため年次別に整備する。
	寄贈逐次刊行物の整理	官公庁、団体等から寄贈された逐次刊行物を整理する。	一 般	年 間	雑誌類は整理保存する。
	逐次刊行物の閲覧と貸出	購入・寄贈雑誌の閲覧と貸し出しや一部CD-ROMによる閲覧により、利用者の要求に応じる。	一 般	年 間	一部を除き貸し出しを行う。
	複写サービス	著作権法にのっとり、複写サービスの適正な運用につとめる。	一 般	年 間	館内利用者及び県外からの文書による申し込みに応じる。
	雑誌スポンサー制度	雑誌スポンサーを募集し、ブラウジングコーナーの充実をはかる。	企業・商店・団体	随時受付	スポンサーに雑誌の購入費を負担してもらい、最新号カバー等にスポンサー名を表示する。
	参考資料の収集と整理	各分野の調査・相談に必要な参考資料を収集・整理する。	一 般 図 書 館	年 間	出版情報により、情報を集め、資料を収集する。
	特別集書の収集と貸出	「橋と川」に関する資料を収集し貸出する。	一 般 図 書 館	年 間	「橋と川」に関する資料を収集する。
	データベースの提供	DVD-ROM版、Web版のデータベースを専用端末により提供する。	一 般	年 間	契約上可能なものはプリントアウトに応じる。
	調査相談活動	一般利用者、市町村立図書館等から寄せられる調査研究の質問に対して必要な資料や情報を提供する。	一 般 図 書 館 県 機 関	年 間	電話・口頭・文書・FAX・電子メールによるレファレンスに対し回答する。
	総合目録ネットワークと相互貸借	国会図書館、全国の公共図書館とのネットワークに参加する。相互貸借により利用者の資料要求に応える。	一 般 図 書 館	年 間	総合目録ネットワークシステムへ蔵書目録データを提供する。県内図書館向け研修会を開催する。県外図書館から資料を借り受け、利用者へ提供する。
レファレンスツールの作成	レファレンスの事例をデータベース化し、ツールとして役立てる。	一 般 図 書 館	年 間	レファレンスの回答記録を整理し、データベース化する。	

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
( 調査担当 )	検索コーナーの管理・運営	利用者の端末使用を援助する。	一 般	年 間	利用者用検索端末・DVD-ROM閲覧端末等の使用を援助する。
	インターネット端末の一般開放	調査研究や知的創造などに欠かせない電子文献の収集を援助・促進する。	一 般	年 間	インターネットが閲覧できる端末を設置し、Web情報の利用に供する。
調査相談課 ( 郷土担当 )	郷土資料の充実と整理	郷土に関する資料要求に応えるため、郷土に関する資料の収集・整理に努める。	一 般	年 間	特色のあるコレクションとして一般蔵書と区別して保存し、利用に供する。
	地方行政資料の収集と整理	国、県、市町村への働きかけを強めて、官公庁出版物と地方行政資料の収集整理に努める。Web版資料についても収集に努める。	一 般	年 間	県、市町村及び国の出先機関等に資料の提供を呼びかける。Web版資料の電磁的記録と利用に関する許諾を求める。
	調査相談活動	一般利用者、市町村立図書館等から寄せられる調査研究の質問に対して必要な資料や情報を提供する。	一 般 図 書 館 県 機 関	年 間	電話・口頭・文書・FAX・電子メールによるレファレンスに対し回答する。
	資料の複写	マイクロフィルム・デジタル化された新聞、郷土資料等の複写サービスを行う。	一 般	年 間	デジタルライブラリ画像閲覧システムやマイクロリーダープリンターによる複写を行う。
	資料のマイクロフィルム化・デジタル化	調査研究資料として増大する新聞情報を、マイクロフィルム化して整理保存する。	一 般	年 間	現在、収集保存している全国紙地方面を引き続きマイクロフィルム化し、利用に供する。また、貴重資料等のデジタル化に努める。
	図書の展示	テーマにそった郷土資料の展示を行い、関心を高め利用を促進する。	一 般	年 間	郷土資料の展示を行い、展示資料リストを作成する。
	郷土用レファレンスツールの作成	郷土の事項や人物に関するレファレンス事例データベースを作成し、検索ツールとして役立てる。	一 般 図 書 館	年 間	レファレンス回答記録から選定したものなどをデータ入力する。また、公開にも努める。

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
資料 課 （ 資 料 担 当 ）	資料の収集 と整理	一般貸出資料の選択・収集 ・整理及び購入雑誌・参考 図書の整理を図る。	一 般	年 間	出版情報により選書し、 発注、受け入れを行う。
	資料の配架 と保存	開架図書の利用を促進し、 書庫内資料の出納を容易に する。	一 般	年 間	オープンスペースと書 庫の資料を適正に配架 する。
	予約（リク エスト）制 度	利用者の希望する資料の予 約を受け提供する。	一 般	年 間	来館・電話・インター ネットで予約を受け処 理する。
	視聴覚資料 の収集と整 理	CDの収集・整理を行う。	一 般	年 間	CDブックを収集し、 貸し出しする。（音楽C Dは寄贈のみ収集）
	障がい者及 び高齢者用 資料の収集	障がい者や高齢者のための 資料を収集する。	障がい者 高 齢 者	年 間	大活字本やDAISY を収集・整理し、貸し 出しを行う。また、携 帯型拡大読書器、活字 自動読み上げ機を設置 している。
	対 面 朗 読	目の不自由な方に、資料を 朗読する。	目の不自 由な方等	年 間	来館のうえ、対面朗読 協力者が朗読する。
	郵 送 貸 出	障がい者の方に、郵送によ る貸し出しを行う。	障がい者	年 間	電話、文書等で申し込み を受け付け、図書・カ セット・DAISY等 を郵送する。
	督 促	期限を過ぎても返却されな い利用者に対して、督促通 知を行い、資料の効率的運 用を図る。	一 般	年 間	郵便と電話により、通 知を行う。
	ベストセラ ー寄贈事業	予約者が多いベストセラ ー本の寄贈をお願いし、予約 待ち期間の短縮を図る。	一 般	年 間	図書館ホームページや 館内にリストを掲示し、 寄贈していただく。
貸出、利用 者登録	資料の貸し出しと貸出利用 者を登録する。	一 般	年 間	貸し出しは、県内在住 者、在勤者、在学者に 対して10冊22日間。	



区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
資料 課  ( 児 童 担 当 )	資料の収集と整理	児童書、子どもの読書に関する研究書、紙芝居、お話しCDなどを収集整理する。	0歳～高校生、一般	年 間	出版情報により選書し、発注、受け入れ、保存を行う
	予約（リクエスト）制度	利用者の希望する資料の予約を受け提供する。	0歳～高校生、一般	年 間	来館、電話、インターネットで予約を受け処理する。
	調査相談活動	子ども、保護者、子どもの読書関係者（機関）、市町村立図書館等からの質問に対して必要な資料や情報を提供する。	0歳～高校生、一般、図書館、関係機関	年 間	電話・口頭・文書・FAX・電子メールによる質問に応じる。
	学校図書館との連携推進	学校図書館担当職員の相談・要望に応えることにより、学校図書館との連携を進める。	特別支援学校図書館 他	年 間	要望のある県立学校図書館を訪問して説明や相談に応じる。
	子どもの読書に関する研修会	公共図書館職員、読み聞かせボランティア、子どもの読書活動推進関係者などが、子どもの読書のすすめ方について研修を行う機会を提供する。	子どもの読書活動推進関係者、図書館	年 間	研修会を開催する。
	おはなし会	絵本の読み聞かせなどによって、乳幼児・児童に読書の楽しさを味わってもらおう。	乳 幼 児 童	月 3 回	絵本の読み聞かせ、紙芝居、ストーリーテリングなどを行う。（月2回はボランティアによる）
	こどもの本コーナーだよりの発行	児童書、子どもの読書関連行事等を紹介すると共に、こどもの本コーナーの広報をする。	0歳～中学生、一般	月 1 回	ホームページ「こどもの本コーナー」にも掲載する。
図書展示	テーマにそった児童書の展示を行い、関心を高め、子どもの読書活動を推進する。	0歳～中学生、一般	年 間	それぞれの時期にテーマにそった図書を集めて展示する。	
その他	コンピュータの管理運営	コンピュータ委員会を中心に、コンピュータに伴う各種作業を行う。		年 間	マーク登録、蔵書点検、研修、ホームページの運用等の実施。

## 平成26年度図書館費予算（当初）の状況

（単位：千円）

事 項 名	平成26年度 予算額(当初)	備 考
図書館管理運営費	42,113	館内維持管理諸経費 日本図書館協会等負担金 貸出カウンター運営管理等業務委託費
図書館資料充実費	35,305	一般図書購入費 児童図書購入費 新聞・雑誌等購入費 視聴覚機材・資料購入費 雑誌等製本費
館内奉仕運営費	941	館内サービス提供諸経費
コンピュータ管理運営費	4,672	コンピュータ関係経費 (第6期図書館システム修繕関連経費を除く。)
郷土資料調査収集研究費	953	総合学術調査経費 郷土資料収集費
読書活動推進費	946	協力車巡回諸経費等 読書振興大会補助金
計	84,930	

# 徳島県立図書館資料収集方針

## I 基本的考え方

- 1 資料の収集選択に当たっては、県立図書館としての基本的性格を踏まえて、図書館法並びに「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に定める資料を収集する。
- 2 「図書館の自由に関する宣言」（日本図書館協会採択 1979年改訂）の精神を尊重する。
- 3 資料の選定においては、資料の価値及び利用者の要求に十分配慮し、県民の意向や資料収集委員以外の職員の意見も十分反映させる。
- 4 図書館機能の役割を認識し、効率のよい収集を行う。
- 5 資料の収集においては、蔵書の各分野別のバランスが適正になるように調整を図り、基本的な図書を中心に広く収集し、かつ、蔵書がいつも新鮮な状態を保つように配慮する。
- 6 寄贈図書の受け入れについては、前項の収集方針を適用し、その運用については別に定める。
- 7 寄託資料については、原則として、新たな受け入れは行わない。

## II 図書選定者の任務

- 1 出版される資料に関して、豊富な情報、資料を持つこと。
- 2 担当する領域の資料を読み、その内容を把握すること。
- 3 図書館利用者のニーズ及び社会の現状について研究すること。

## III 図書の内容、形態による収集

- 1 以下の形態を取るものについては収集しない。
  - (1) 切抜、組立を目的に編集されたもの。
  - (2) 書込を目的として編集されたもの。
  - (3) 著しく耐久性に欠けるもの。
- 2 プライバシー（人権）を著しく損なう資料は、特に内容表現等を検討する。
- 3 対立関係になる問題を扱ったものについては、双方の主張を収集する。
- 4 受験参考書、問題集、教師用テキストは収集しない。
- 5 外国語図書については、利用頻度が高いと予想されるものを収集する。
- 6 宗教に関しては、バランスを考慮し、特定宗派に偏らないようにする。

## IV 個別基準

### <郷土資料の収集>

郷土資料の収集に当たっては、次の点について留意する。

- 1 郷土資料の範囲は、徳島県全域（淡路を含む～近世）とする。
- 2 郷土に関係した文献及び資料は、すべて郷土資料とする。ただし、その一部分のみが郷土に関係しているときは、必要に応じて郷土資料として取扱う。
  - (1) 郷土地域について書かれたもの
  - (2) 郷土の人物について書かれたもの
  - (3) 郷土出身者、郷土在住者、郷土在職者の著作物
  - (4) 郷土で発行された図書以外のもの
- 3 郷土に関する資料は、保存用、貸出用を収集する。

### <参考資料の収集>

参考資料については、原則として次の種類について収集する。

- |                 |        |
|-----------------|--------|
| 1 辞典            | 7 年表   |
| 2 百科事典          | 8 地図帳  |
| 3 専門辞典          | 9 書誌   |
| 4 人名(伝記)事典、地名事典 | 10 索引  |
| 5 便覧(ハンドブック)    | 11 抄録  |
| 6 図鑑            | 12 統計書 |

### <児童資料の収集>

児童の健全な育成に配慮し、収集する。

### <視聴覚資料の収集>

- 1 市販されている録音図書(カセット、CD等)、紙芝居を収集する。
- 2 郷土に関する資料を収集し、保存する。

### <新聞・雑誌、その他逐次刊行物の収集>

- 1 主要な全国紙、地方紙、外国新聞を収集する。
- 2 広く読まれる雑誌、専門的な逐次刊行物、主要な外国雑誌を収集する。
- 3 逐次刊行物として取扱う資料の基準は、「逐次刊行物資料判定基準(昭和63年4月1日制定)」によるものとする。

### <マイクロフィルムの収集>

徳島県に関連するものを収集する。

### <特別集書の収集>

橋や川に直接関係した内容、テーマのものを収集する。

## V 資料の収集方法

- 1 新刊案内、出版目録、各種書評等で選定し、購入・寄贈等により収集する。
- 2 市町村立図書館および利用者からの貸出希望については、各選定基準に基づき、可能な範囲で収集する。

## VI 資料収集委員会で検討するもの

- 1 漫画及び漫画に類似した資料
- 2 一枚ものの資料
- 3 徳島県立図書館閲覧の制限に関する要綱第2条に規定する関係資料
- 4 特定の団体、企業等の売り込みによる資料
- 5 全集、分冊、シリーズ本、自費出版本
- 6 高額な資料
- 7 リクエスト資料
- 8 その他検討が必要と認める資料

## VII その他

資料収集に関する個別の運用基準については、別途定める。

# 徳島県立図書館資料収集・選定運用基準

## 【趣旨】

この運用基準は、徳島県立図書館の資料の収集・選定を効率的に行うため、徳島県立図書館資料収集方針に基づき定めるものとする。

### 1 一般資料

#### (共通基準)

1. 各分野における原典、古典、名著は既存資料と内容を比較検討して収集する。
2. 各分野の主要な全集、選集、著作集、資料集、講座、叢書を収集する。
3. 各分野の入門書、概説書は専門的な観点から記述された内容の充実したものを収集する。
4. 各分野の専門書、学術書は類書と内容を比較検討して収集する。
5. 内容が高度で細分化された専門分野の資料については、大学・専門機関等の収集に委ねる。
6. 政府及び政府関係機関、団体などの資料は、各種報告書を中心に収集する。
7. 類書が多い分野は、テーマを史実や研究課題として扱ったもの、代表的な観点で書かれた資料を収集する。
8. 社会的関心の高いテーマに関する資料は、内容の充実したものを収集する。
9. 徳島県と関連の深い内容、県政課題、県民に関心のある課題に留意して収集する。
10. 各分野における受賞作品は、既存資料の利用状況などを考慮して収集する。
11. 増補、改訂版については、旧版との差異を考慮して収集する。
12. 復刻版は、蔵書構成の中で資料的価値のある資料を収集する。
13. 大活字本は積極的に収集する。
14. 実用書は、調査・研究に有効なものを中心として収集する。
15. 保存、利用に適さない形態の資料は、原則として収集しない。一過性ではなく長期の利用に耐えうる資料を収集する。
16. 単行本がある場合は、原則として文庫本より優先して収集するが、リクエストにおいてはこの限りではない。
17. 逐次刊行物扱いの資料と重複するものは収集しない。
18. 劣情をそそる資料については収集しない。

#### (分野別基準)

各分野においては、とくに以下の点に留意して収集する。

#### ア 総記

1. 情報科学に関する資料は入門書から専門書まで、最新のものを収集し、更新に努める。
2. 図書館、図書館学に関する資料は、積極的に収集する。

#### イ 哲学・宗教

1. 世界と日本の主要な哲学者の代表的な著作および哲学に関する解説書、研究書などを体系的・系統的に収集する。
2. 超心理学、心霊研究、占いに関する図書は研究書については精選し、それ以外のものについては厳選する。
3. 世界と日本の主要な宗教の聖典および宗教に関する解説書、研究書などを体系的に収集する。

#### ウ 歴史・地理

1. 歴史に関する基本的な資料、主要な解説書、研究書を幅広く収集する。
2. 日本の歴史に関する資料は、精選して収集する。
3. 世界各国、各地域の歴史に関する資料は、蔵書構成に考慮して収集する。

4. 伝記は、各分野、各時代の代表的な人物を中心に精選して収集する。
5. 地理については、国内外ともに蔵書構成に考慮して収集する。
6. 旅行ガイドブックは精選する。主要なものは必要に応じて更新する。

#### エ 社会科学

1. 各国事情に関する資料は、各国、各地域を網羅する。蔵書構成に考慮して収集する。
2. 法律に関する資料は、入門書から専門書まで幅広く収集する。法令の制定、改正などに留意して、必要に応じて更新する。
3. 政治、経済に関する資料は、入門書から専門書まで幅広く収集するが、長期的な利用が見込めない時事的なものについては厳選して収集する。
4. 社会問題に関する資料は、幅広く収集する。
5. 教育に関する資料は、幅広く収集する。特に家庭教育、生涯学習に関する資料に留意して収集する。
6. 風俗、民俗に関する資料は、各地域、各民族を網羅する。

#### オ 自然科学

1. 自然科学に関する資料は、各分野について入門書から専門書まで幅広く収集する。
2. 医学・薬学に関する資料は、人体や病気及び医療についての理解に役立つ資料を中心に収集する。民間医療については、客観性、科学性、信頼性に留意する。
3. 科学の楽しさを伝えるエッセイや趣味教養の本なども著者・話題性・内容を考慮し、精選して収集する。

#### カ 技術・工学

1. 最新の研究成果や技術の進歩に留意し、体系的に収集する。各種の規格類、図面、図集などは基本的なものを必要に応じて収集する。
2. 研究の成果が生活の安全などに反映される分野に関しては、その知識の理解を助けるよう、基本的でわかりやすい図書を中心に収集する。
3. 生活科学については、学術的なものだけでなく日常生活に役立つ実用書を必要に応じて収集する。

#### キ 産業

1. 各種産業に関する資料を幅広く収集する。新しい技術や研究成果および社会的動向に留意する。
2. 商業、運輸、通信事業に関する資料は、最新の企業動向、時事性、話題性に留意して収集する。
3. 家庭向けの園芸資料、ペットに関する資料は精選する。

#### ク 芸術

1. 国内外の芸術の各分野の主要な解説書、研究書、作品集等を体系的に収集する。
2. 個人の画集、作品集については、当該作家の評価、知名度、既存資料との重複を考慮して精選する。
3. コミック漫画は、収集しない。但し、学習漫画は別途に判断する。
4. 写真集は、芸術性、記録性などに留意し精選する。
5. 音楽に関する資料は、幅広い分野の資料を収集する。楽譜は収集しないが、歌集、楽譜集は基本的なもの、調査・研究に有効なものを中心に収集する。
6. 伝記、読み物、エッセイは、既存資料と比較検討し精選する。
7. スポーツは、ルールブックや技術書などを中心に精選して収集する。
8. 囲碁、将棋、ゲーム等室内娯楽に関する資料は厳選して収集する。

## ケ 言語

1. 文字・言語の歴史や成り立ちが概観できるもの、各言語の語彙・単語、文法、音韻、文体等が体系的に理解できるものを収集する。
2. 言語辞典は各言語の歴史・文化や有用性を考慮して収集する。
3. 学習等のための語学実用書は、目的に合わせてその効果の高いものを精選して収集する。但し、試験・資格を対象としたものは内容を十分に吟味する。

## コ 文学

1. 内外の文学が体系的に理解できるような文学史、文学論を収集する。
2. 古典から現代まで文学史上に登場する主な作品とそれに関する作家論、作品論は幅広く選ぶ。著名な文学作品やその関係書については、精選する。
3. 文学形式や小説分野を問わず、描写にすぐれ作品性の高いものを選ぶ。
4. 時代性や社会性を反映し、将来評価の対象となりえる文学作品を選ぶ。
5. 主要言語の外国作品だけでなく、それ以外の外国作品も秀作を中心に幅広く選ぶ。

## 2 逐次刊行物

県内市町村立図書館、大学図書館、類縁機関等における収集状況を考慮し、慎重に選定する。

### 1. 雑誌

- (1) 情報誌は、多様な意見を反映した蔵書構成に努める。
- (2) 専門誌は、速報性、蓄積性を考慮し、幅広く収集する。
- (3) 業界誌は、各業界の動向が把握できるものを収集する。
- (4) 医療・健康誌は、記事の信憑性を吟味し、幅広く収集する。
- (5) 芸術・文化誌は、幅広い読者を対象としたものを収集する。
- (6) 文芸誌は、代表的なものを収集する。
- (7) 実用誌は、日常生活に役立つものを精選する。

### 2. 新聞

- (1) 主要な全国紙と地方紙、業界紙などを収集する。

### 3. 年刊類

- (1) 各分野の代表的な年鑑、年報類については、積極的に収集する。
- (2) 政府刊行の白書、統計類については、積極的に収集する。
- (3) 統計、調査報告は、一次資料を中心に収集する。また、編集されているものについては体系的に編集され、調査・研究に有用なものを収集する。
- (4) 継続収集に努めるが、定期的に版を重ねる（改定される）資料で大部なものは、必要に応じて随時収集する。

## 3 参考資料

- (1) 現在の社会情勢、県民の有する課題を考慮し、調査・研究活動を支援するものを、内容の改定に留意し積極的に収集する。
- (2) オンラインデータベースは、調査・研究に有用なものを精選する。
- (3) 館全体の蔵書構成を考慮し、整合性を図る。
- (4) 地形図等については、一枚ものであるが収集する。

## 4 特別集書

- (1) 橋と川に関する資料を幅広く収集する。
- (2) 農業利水、農業用水（614.3）は原則として除く。

## 5 郷土資料

### 1. 原則として、次のものを資料の種別に関係なく網羅的に収集する。

- (1) 内容が徳島地域に関する資料。地域の対象は徳島県全域とする。ただし、近世までは淡路を含む。
- (2) 内容が徳島ゆかりの人物に関する資料
- (3) 個人著者等が徳島出身の資料
- (4) 個人著者等が徳島在住または在職で、その足跡、活動が地域に影響を与えた人の資料
- (5) 県内自治体、関係機関が発行する地方行政資料
- (6) 徳島に拠点を置く事業所や各種団体が発行する年報、概要、研究報告、機関誌、記念誌広報、リーフレット
- (7) 県内の学校等が発行する要覧、研究紀要、記念誌、校誌、副読本、新聞、施設案内
- (8) 徳島で発行される同人雑誌
- (9) 徳島を舞台にした文芸作品
- (10) タウン誌、ミニコミ紙
- (11) 観光パンフレット、イベントちらし
- (12) 徳島の地方新聞および全国紙の徳島地方面
- (13) 徳島の地図類
- (14) その他郷土資料として保存・利用が必要なもの

### 2. 資料全体の一部分を扱っている場合は、量、内容、蔵書構成等を考慮し、必要に応じて収集する。

### 3. 一般雑誌、多巻ものの一部（1巻）に徳島を扱っている場合は該当の巻を収集する。

### 4. 保存用のほかに閲覧用・貸出用の収集に努める。

## 6 児童資料

### 1. 乳児から中高生など10代の子どもまでを対象として、次の資料を網羅的に収集する。

- (1) 児童図書
- (2) 紙芝居
- (3) ヤングアダルト向けの図書
- (4) 児童対象の録音図書など（CD）
- (5) 児童向きの逐次刊行物

### 2. 児童資料室用図書として次の資料を収集する

- (1) 児童図書や子どもの読書について調査・研究するための資料
- (2) 子どもの読書推進に役立つ大型絵本や関連資料
- (3) 但し、教科書及び教科書に関する研究書は、収集しない。

### 3. 収集の制限

原則として、次の形態や内容の資料は収集しない。

- (1) 形態
  - ・散逸しやすいもの
  - ・組み立て、切り抜きを目的に編集されたもの
  - ・著しく耐久性に欠けるもの
- (2) 内容
  - ・受験用参考書、問題集
  - ・商業的キャラクターを扱ったもので、マニュアル用として利用されるもの（ゲームの攻略本など）
  - ・戦争、性、生命等を興味本位に扱ったもの
  - ・童謡・わらべ唄を除く、音楽が主となるもの（CD、カセット）

## 附則

この基準は、平成25年4月1日から施行する



### Ⅲ 平成25年度事業報告

#### 1 情報支援課 関係

図書館の維持管理及び職員の人事、サービスに関する事務を執行したほか、文化の森他館との連絡調整、研修会等を開催するとともに、友好文化団体と協力して業務を実施した。

また、市町村立図書館に対し、援助・協力するとともに、「とくしまネットワーク図書館」システムの充実に努め、県下の中核図書館として県民へのサービスを進めた。

##### (1) 企画関係業務

- ① 図書館の維持管理
- ② 各種統計調査、年報の発行
- ③ 各種講演会、図書館研修会等への職員の派遣
- ④ 徳島県立図書館協議会を11月22日に開催した。

##### (2) 協力関係業務

協力車による資料の貸出、県内図書館間の相互貸借を行った。また、県内全公共図書館と図書館未設置町教育委員会を訪問し、情報交換、相談・助言等を行った。

県内高等学校・特別支援学校図書館を対象に希望する資料の貸し出しを行っている。また、各読書振興団体と協力して読書の振興・普及を図った。

##### ① 協力車による援助・協力活動を行った。 延べ巡回日数 344 日

(ア) 市町村立図書館に対する援助・協力活動を行った。

対象市町村数 19 市町村

協力貸出(リクエスト) 貸出冊数 17,470 冊

(イ) 図書館未設置町への資料援助を行った。

対象町数 5 町

協力貸出(リクエスト) 貸出冊数 2,595 冊

##### ② 相談業務を年2回実施した。

対象 市町村立図書館 28 館、図書館未設置町 5 町

##### ③ 県立学校図書館への資料援助を行った。

利用学校数 23 校 協力貸出(リクエスト) 貸出冊数 2,331 冊

##### ④ 県立病院と連携した貸出サービスを実施した。

利用病院数 1 病院 貸出冊数 1,200 冊

##### ⑤ 団体貸出の実施(職場・学校などの団体に対して貸し出しを行った。)

利用団体数 4 団体 貸出冊数 336 冊

##### ⑥ 読書会文庫の貸出(1セット10冊の読書会文庫を貸し出した。)

利用団体数 16 団体 貸出冊数 1,527 冊

##### ⑦ 「まなびの森」講演会(生涯学習支援事業)を放送大学学習センターと連携し行った。

開催講演数 12 講演 参加人数 666 名

##### ⑧ 総合学術調査を阿南市において実施(平成25年8月2日から11日まで)した。

##### ⑨ 実務者担当者会を開催し、協力通信No. 212~219を発行した。

## ■ 協力車の巡回状況

(平成22年4月1日から県内すべての市町村に巡回開始)



◎：協力車巡回対象市町村立図書館（19館…自治体内の中心館に巡回）

□：協力車巡回対象教育委員会等図書館以外の施設

## 2 調査相談課 関係

県立図書館の基本的資料である逐次刊行物・参考図書・郷土資料を収集、整理、保存して広く県民の利用に供した。

館内及び、館外からの文書・電話・メールによるレファレンスサービス、県外公共図書館への相互貸借、市町村立図書館への協力業務（レファレンス）を進めたほか、郷土に関するあらゆる資料の収集と新聞のデジタル化・マイクロフィルム化を図り利用に供した。

### (1) 逐次刊行物関係業務

逐次刊行物は、303,946冊を所蔵しており、ブラウジングコーナー・新聞雑誌コーナー等には、雑誌509タイトル（購入289、寄贈220）、新聞53種（購入34、寄贈19）、各種の年鑑、白書、統計等を配架して利用に供するとともに、一部を除き貸し出しも行った。

- ① 資料購入費（備品費）2,062,584円で、年鑑、白書等245点を購入した。
- ② 資料購入費（需用費）5,089,119円で、雑誌3,554冊、新聞34種、官報を購入した。
- ③ 寄贈資料は3,099冊を受け入れた。寄贈新聞は19種であった。

- ④ 製本費 125,685 円で、官報 57 冊の製本を行った。
- ⑤ 徳島県内公共図書館の購入雑誌と所蔵新聞について調査し、『徳島県内公共図書館購入雑誌・所蔵新聞目録 2013 年版』を作成するとともに、ホームページ上で「県内公共図書館雑誌一覧」を公開した。
- ⑥ 県立図書館応援事業として雑誌スポンサー事業を実施し、13団体より29誌の提供があった。
- ⑦ 雑誌のバックナンバーを用いた小展示をブラウジングコーナーで行った。
- ⑧ 電子コピー機による複写枚数は、59,946枚（白黒58,049枚、カラー1,897枚）であった。

## (2) 参考資料関係業務

- ① 3,069,635 円で 参考図書 297 冊、69,568 円で 特別集書（橋と川に関する資料）を23 冊購入した。  
寄贈資料は、参考図書 91冊、CD-ROM等1点、特別集書 4冊であった。
- ② 参考資料数は 65,264 点であり、そのうち参考資料コーナーには 23,364 冊を開架した。特別集書数は 6,455 冊で特別集書コーナーに 4,082 冊を開架した。
- ③ 参考質問件数は 14,023 件で、内訳は、レファレンス記録記載分 1,294 件（そのうち、市町村立図書館等からの参考質問は 128 件、県議会・行政機関からの参考質問は35件）、所蔵検索等の資料案内件数が 12,729 件であった。
- ④ 資料の探し方についてのパスファインダーを作成し、館内で配布した。
- ⑤ 資料の相互貸借は、他館からの借り受けが 145 件 222 冊、他館への貸し出しが 803 件 1,231 冊で、合計948 件 1,453 冊であった。（協力車による県内図書館への貸し出しは除く。）
- ⑥ DVD-ROM版、CD-ROM版のデータベースを閲覧用端末 3 台で、「聞蔵」等の商用データベースを端末 2 台で利用に供した。また、これらデータベースのプリントサービスを行った。枚数は 3,527 枚（白黒 3,526 枚、カラー 1枚）であった。
- ⑦ 利用者用インターネット端末 2 台の利用は440件であった。
- ⑧ 県立図書館の参考図書の新着案内を月1回「とくしまネットワーク図書館」に掲載した。

## (3) 郷土資料関係業務

- ① 資料購入費（備品費）1,301,466 円で、図書 616 冊、CD 18 枚、DVD 2 枚を購入した。
- ② 172,200円で新聞のマイクロフィルム 4 巻と縮刷版DVD 12枚 を購入した。
- ③ 資料購入費（需用費）89,080 円で、逐次刊行物 5 タイトル 108 冊と郷土新聞 1 タイトルを購入した。
- ④ 寄贈図書 1,129 冊、寄贈逐次刊行物 2,785 冊、その他の寄贈資料 31 点を受け入れた。
- ⑤ 製本費 182,070 円で、新聞等 5 タイトル 37 冊の製本を行った。また、90,090 円で 28冊の修理製本を行った。
- ⑥ 「徳島新聞」等のマイクロフィルム・デジタル画像の閲覧 514 人、複写 7,992 枚であった。
- ⑦ 研究室1：35 件 44 人、研究室2：0 件 0 人、撮影室：17 件 17 人の利用があった。
- ⑧ 徳島新聞社と協議して、徳島新聞縮刷版DVDからのPDFファイルを作成したうえでデジタル画像閲覧システムに登録し、同システムを介し館内専用パソコンで利用できるようにした。
- ⑨ Web上に公開されている地方行政資料を当館の電磁的記録媒体に記録・保存し、平成25年4月

から館内での利用が始まった。

- ⑩ 郷土資料を探すためのヒントを与えるパスファインダー第6号、第7号を作成し、館内配布した。
- ⑪ 「自然とふれあいたいー徳島編ー」展などのミニ展示を郷土資料コーナーの展示ブースで計9回行った。

### 3 資料課 関係

一般貸出用資料、児童資料を購入及び寄贈により収集し、整理、保存している。それらの資料により、館内閲覧、個人貸出を行った。また子どもの読書活動推進についての研修会、展示等を実施し、障がい者、高齢者へのサービスを充実するため視聴覚資料の収集に努めるなど、県民全体への充実したサービスの向上を図った。

#### (1) 貸出関係業務

- ① 図書資料購入費 18,564,713 円で、一般資料コーナー用図書10,031 冊 18,034,213 円（大活字本を含む。）、視聴覚資料 28 点440,500 円（一般用CD 23 枚、DAISY 5 タイトル）、点字図書分室用資料 23 点 90,000 円をそれぞれ購入し、整理した。
- ② 寄贈資料 1,304 冊を受け入れ、整理した。
- ③ 平成25年度末の一般資料数は 706,562 冊である。一般資料コーナーに約 21 万冊を開架し、書庫一般の資料は出納により利用に供した。平成 25 年度の書庫一般からの出納22,138 冊で一日平均 77 冊であった。
- ④ 貸出冊数、貸出利用者数、登録者数  
6 諸統計（24ページ）参照
- ⑤ 一般資料のリクエスト（予約）は 17,367 件であった。
- ⑥ 障がい者への郵送貸出の利用は、図書・雑誌 897冊、一般用視聴覚資料 261 点、障がい者専用カセットテープ 975 巻、DAISY 3 枚であった。  
また、点字図書は、点字図書分室（県立盲学校）で利用された。
- ⑦ AVコーナーでは、CDデッキ 1 台を設置し、ヘッドホンにより自由に聴けるようにしている。また、車椅子のまま利用できるCD・カセット用機器を設置している。
- ⑧ 県立図書館応援事業のベストセラー寄贈事業では、91 冊の寄贈を受けた。
- ⑨ 「とくしま 私のこの一冊～徳島ゆかりの著名人」事業  
平成25年2月13日より、ブラウジングコーナーにて、読書をより親しみやすいものとし、読書活動の推進を図ることを目的に、県内外の徳島ゆかりの著名人による推薦図書の紹介文をパネルにし、本とともに展示した。また、同内容をホームページ上で公開した。  
第1回：平成25年2月13日～6月16日 第2回：6月18日～10月20日  
第3回：平成25年10月22日～平成26年3月2日 第4回：3月4日～6月29日
- ⑩ 未来を切り拓く人材育成をテーマに、豊かな感性の醸成や国際的な視野の涵養に役立つ図書、キャリアの習得やスキルアップにつながる図書（「未来を切り拓く人材育成のための図書」1,784 冊）を収集し、コーナーを設置して若い世代の利用の促進を図った。

## (2) 児童関係業務

① 資料購入費（備品費） 3,633,893 円で、児童関係図書2,559冊、紙芝居49巻、CD1点を購入し、整理した。また、新聞・雑誌購入費（需用費）は 252,084円で、新聞を毎月 4 種類、雑誌を37種341冊を購入した。

### ② 館内利用と閲覧

こどもの本コーナーに約 50,000 冊を、児童資料室に子どもの読書や児童図書関連の研究書など約 3,500 冊を開架図書として配置した。

コーナーの一角に、ヤングアダルトコーナーを設け、中・高校生向けの図書を別置した。

また、子育てに関する図書約800冊と雑誌9誌、赤ちゃん絵本約300冊を集め、子育て関係機関等のパンフレットなども置いた、子育て支援図書コーナーの充実を図った。

### ③ 参考サービス

貸し出しとあわせて子どもの本に関する読書相談及び参考質問に応じた。また、なお一層のサービス向上を図るため、子どもの本、子どもの読書に関する参考図書や郷土関係資料を収集してその充実に努めた。

④ 児童関係資料のリクエスト（予約）は、2,648 件であった。

⑤ 学校図書館訪問相談を、特別支援学校11校 延べ15回行い、図書館業務に関する相談と県立図書館のサービスについての案内を行った。

### ⑥ 子どもの読書に関する研修会・行事

○「初めての方のための読み聞かせ講座」 6月1日 参加者：52名

講師：鳴門教育大学大学院教授 余郷裕次氏

初めて子どもたちに読み聞かせをされる方、してみたいと思っている方対象に、絵本の読み聞かせ、絵本の持つ特徴などについて長年研究されている講師によるの講義とワークショップを開催した。

○子どもの読書研修会「子どもといっしょに楽しみたい絵本」 9月25日 参加者：41名

講師：庄野昭子氏（なないろ文庫主宰 高松子どもの本の会代表）

読み聞かせや文庫活動を実践されてきた講師による、おすすめの作品や絵本の選び方、読み聞かせの注意点などを学ぶ研修会を開催した。

### ○ 行事

赤ちゃんと楽しむおはなし会（毎月第2木曜日） 年間12回 参加者：延べ 352名

おはなし会（毎月第2・4日曜日） 年間24回 参加者：延べ 370名

赤ちゃんと楽しむおはなし会関連企画として、徳島県助産師会による子育てについてのアドバイス・相談の会「助産師さんとはなそう！」を9月、1月、3月に開催した。また、県職員による夏休み出前講座、文化の森サマーフェスティバルおはなし会、図書館探検隊、大秋祭りおはなし会、親子で楽しむクリスマスおはなし会を開催した。

### ⑦ 広報

「こどもの本コーナーりようあんない」を常備し、来館者に配布した。

また、毎月1回「こどもの本コーナーだより」を発行し、来館者のほか県内の市町村立図書館、四国他県の図書館等に配布した。徳島県立図書館ホームページの「こどもの本コーナー」にも掲載した。

#### 4 図書館システム関係業務

(1) 徳島県立図書館ホームページの運営

平成25年4月から徳島県立図書館のホームページを開設しており、随時更新作業を行っている。

(2) コンピュータ委員会

各係より選出された6名でコンピュータ委員会を構成し、図書館業務システムの各種運営等についての討議及び作業を行った。また、県立図書館ホームページ及び職員端末用ネットワークシステムの運用作業も行った。

(3) システム担当者会（随時）

文化の森5館の担当者の会議に出席。業務システム及び文化の森情報システムの運用のための各種作業、各館の情報交換についての作業を行った。

(4) 「図書館を知ろう」資料検索講座の開催

図書館のホームページを活用した郷土資料の検索方法を中心とした検索講座を二十一世紀館3階情報実習室で行った。

(5) 「とくしまネットワーク図書館」システムの運用

とくしまネットワーク図書館システムの運用を行った。

(6) 館内所蔵検索端末にレシートプリンタを接続

書籍を検索するための館内の検索端末11台について、表示画面の内容を印刷して、利用者がその印刷物を見ながら書籍を探したり、書庫の書籍を閲覧するために、職員に渡したりすることができるようにレシートプリンタを設置した。

(7) デジタル画像閲覧用端末機及びディスプレイのリニューアル

利用者用のデジタル画像閲覧端末3台を、表示に十分な能力を持ったPCと23インチディスプレイに切り替えた。また、新たなコンテンツとして、図書館向けデジタル化資料送信サービスの提供を26年2月から始めた。

(8) 利用者用インターネット端末のリニューアル

従来の端末がWindowsXpであったため、Windows7端末にリニューアルした。

#### 5 他機関との連携事業ほか

(1) しごと応援コーナーの充実

仕事に関する本（平成25年度受入352冊）・雑誌の他に、ジョブカフェとくしま（徳島県若年者就職サポートセンター）・ハローワーク徳島などと連携して、平成25年度は、201点の就業情報パンフレットやポスター、毎週発行の求人情報などをも置き、情報提供を行った。

(2) 県立図書館 県政情報テラス事業

平成23年11月から、県政情報テラス事業として、県の重点施策や地域の課題をわかりやすく周知、理解していただくコーナーを一般資料コーナーカウンター横に設置した。パブリックコメントと県政に関するチラシなどの広報資料を置き、気軽に見ていただいている。

25年度は、39件のパブリックコメントや募集結果を配布・公示した。また、県政に対する9件のチラシを配布した。

また、7月24日には県環境管理課の出前講座『大気についてのおはなし』、7月26日には水・環境課の出前講座『よごれた水のゆくえ』を、3階集会室で開催するとともに、7月17日～7月26日まで、図書館3階ロビーで、関係資料の展示を行った。

(3) 県外図書館との交流企画展開催事業

図書館ネットワークを活用した企画交流展示により、図書館の情報発信力を高め、人・物の交流を促し、地域振興に資することを目的として平成22年度より開始した。

平成25年度は、鳥取県立図書館と兵庫県立図書館の2県との交流企画展示を行った。

(4) 講師派遣、インターンシップの受け入れ、学校教育との連携

県立図書館では、社会教育施設や学校などの要請を受けて職員を講師として派遣している。

生徒が、自分の学習内容や進路に関連した就業体験や見学を行う「中高生の職場体験・インターンシップ」の受け入れも行っている。また、学校教育との連携として、学校の授業・遠足等による図書館利用を促進している。(別表)

(5) 文化の森連携事業

文化の森全館で8月18日に「文化の森サマーフェスティバル」、11月3日に「文化の森大秋祭り」を実施し、図書館では『おはなし会』や『大人のための図書館ツアー』などを開催した。

また、県立文書館の企画展「広告ポスターの社会史」にあわせて関連図書の小展示を行った。

(6) 健康・医療関連事業

徳島県看護協会主催の「まちの保健室」を平成20年9月末より図書館1階で月2回実施し、平成25年度は623名が利用、112件の疾患や健康についての相談が寄せられた。また、6月には「歯と口の健康週間」、11月には「全国糖尿病週間」、3月には「女性の健康週間」にあわせて、関連図書の小展示を行い、関係団体から提供を受けた啓発パンフレットを来館者に配布した。

(7) 「特別整理」の県民への理解と休館期間の周知をはかるため、「『特別整理』って何するの？」のポスターを作成し館内に掲示するとともにホームページにも掲載した。

◆ 平成25年度刊行物

①平成25年度 年報	350 冊	(H25. 6. 1 発行)
②図書館カレンダー	30,000 枚	(H26. 2. 1 発行)
③阿波学会紀要 第59号	300 冊	(H25. 7. 20 : 阿波学会)

[東みよし町「旧三加茂町」 総合学術調査報告]

## 講師の派遣

徳島県立図書館では、社会教育施設や学校などの要請を受けて職員を講師として派遣している。平成25年度の派遣は次の通りである。

期 日	会 場	講 座 内 容 等	派 遣 職 員	参加者
7月31日	徳島県立二十一世紀館 県立図書館集会室	教職員初任者研修 「図書館を使って、楽しく学校生活を！」	宇山博子・中原美弥 山本みち・小松真幸 河野聖子	18
8月2日	県立図書館集会室	徳島県高等学校図書委員研修会	江澤真理子・小松真幸 河野聖子	61
8月7日	徳島県立二十一世紀館 県立図書館集会室	教職員初任者研修 「図書館を使って、楽しく学校生活を！」	宇山博子・中原美弥 山本みち・小松真幸 河野聖子	15
8月13日	県立図書館集会室	徳島県高等学校図書委員研修会	江澤真理子	3
10月8日	徳島市立図書館	徳島市立図書館職員研修会 「レファレンス入門」	山口洋子	37
11月14日	鴨島支援学校	出前おはなし会	久保貴栄・河野聖子	60
12月3日	徳島県立障がい者交流 プラザ	音訳奉仕員養成講習会 「読めないことばの調べ方」	中原美弥	14
2月21日	徳島県立障がい者交流 プラザ	点訳奉仕員養成講習会 「読めないことばの調べ方」	山口洋子	12
2月18日	県立図書館集会室	徳島県学校司書部会研究協 議会 「本のクリーニングについて」	小松真幸	32



## 中高生の職場体験・インターンシップ

生徒が、自分の学習内容や進路に関連した就業体験や見学を行う「中高生の職場体験・インターンシップ」の受け入れを行った。

	学 校 名	日 時	内 容	参加者
1	聾学校	6月18日～19日	図書館の概要説明・館内見学および情報支援・調査・郷土資料・資料・児童各担当の業務について	1
2	学習院大学	9月3日～6日	図書館の概要説明・館内見学および情報支援・調査・郷土資料・資料・児童各担当の業務について	1
3	城西高等学校	10月17日～18日	図書館の概要説明・館内見学および情報支援・調査・郷土資料・資料・児童各担当の業務について	1
4	城東中学校	10月23日～24日	図書館の概要説明・館内見学および情報支援・調査・郷土資料・資料・児童各担当の業務について	4
5	鳴門渦潮高等学校	11月6日～7日	図書館の概要説明・館内見学および情報支援・調査・郷土資料・資料・児童各担当の業務について	2
6	新野高等学校	11月13日～14日	図書館の概要説明・館内見学および情報支援・調査・郷土資料・資料・児童担当の各業務について	1

## 学校教育との連携－学校の授業・遠足・見学等による図書館利用－

	学 校 名	日 時	内 容	参加者
1	上板町松島小学校（1～3年）	5月10日	遠足・館内見学	110
2	徳島市上八万小学校（1・2年）	5月23日	遠足・館内見学	42
3	吉野川市山瀬小学校（3年）	5月24日	遠足・館内見学	39
4	四国大学（2年）	8月21日	館内見学	6
5	徳島市津田小学校（2年）	11月1日	遠足・館内見学・おはなし会	106
6	阿南市今津小学校（1年）	11月14日	遠足・館内見学	30
7	徳島市八万幼稚園	11月19日	遠足・おはなし会	87
8	徳島市上方小学校（1・2・4年）	11月22日	遠足・館内見学・おはなし会	97
9	徳島市八万南小学校（4年）	12月17日	施設見学（点字ブロックなど）	60
10	徳島市八万南小学校（2年）	12月18日	館内見学・おはなし会	102

参考：図書館資料充実費内訳（雑誌等製本費等を除く）

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
○ 調査相談課					
(1)	逐次刊行物	7,239,636	7,202,385	7,428,987	7,151,703
	資料購入（備品費）費用	2,723,198	2,688,142	2,327,538	2,062,584
	点数	276	296	259	245
	資料購入（需用費）費用	4,516,438	4,514,243	5,101,449	5,089,119
	雑誌種数	290	285	283	289
	新聞紙数	30	33	30	34
	官報	1	1	1	1
(2)	参考資料（備品費）	4,029,813	3,663,045	3,189,347	3,438,578
	参考図書費用	3,908,023	3,587,011	3,096,294	3,069,635
	冊数	367	323	295	297
	特別集書費用	121,790	76,034	93,053	69,568
	冊数	41	25	31	23
(3)	郷土資料	1,417,262	1,463,648	1,496,464	1,390,546
	資料購入（備品費）費用	1,312,345	1,359,396	1,409,542	1,301,466
	図書冊数	556	551	583	616
	CD等点数	10	27	7	20
	資料購入（需用費）費用	104,917	104,252	86,922	89,080
	雑誌種数	7	8	5	5
	新聞紙数	1	1	1	1
○ 資料課					
(1)	貸出用図書（備品費）	14,322,970	13,889,391	15,573,524	18,564,713
	一般資料図書購入費	13,462,078	13,653,943	15,318,044	18,034,213
	冊数	7,400	7,680	8,319	10,031
	視聴覚資料購入費	770,892	145,460	165,480	440,500
	点数	99	21	19	28
	点字図書分室用資料費	90,000	89,988	90,000	90,000
	点数	17	11	14	23
(2)	児童関係図書	* 8,625,581	* 5,837,483	3,697,917	3,885,977
	資料購入（備品費）費用	8,411,632	5,599,969	3,499,835	3,633,893
	児童図書冊数	5,926	3,720	2,311	2,559
	紙芝居巻数	50	52	58	49
	CD等点数	4	4	0	1
	資料購入（需用費）費用	213,949	237,514	198,082	252,084
	雑誌種数	34	30	34	37
	新聞紙数	3	3	3	4
	図書資料購入費合計	35,635,262	32,055,952	31,386,239	34,431,517
	図書購入費（備品費）	30,799,958	27,199,943	25,999,786	29,001,234

\*印は、子育て関連の 一般図書を含む \*印は、子育て関連の 一般図書を含む

## 6 諸統計

○現有図書資料（平成26年3月31日現在）

〈単位：冊〉

区分 分類	館内	館外	こども	計	前年度末現在
0：総記	110,250	2,396	6,432	119,078	116,411
1：哲学	57,859	4,427	1,727	64,013	63,242
2：歴史	110,366	7,714	6,717	124,797	123,299
3：社会科学	286,047	12,449	9,624	308,120	302,280
4：自然科学	94,536	8,806	12,867	116,209	114,566
5：技術	125,531	5,228	5,208	135,967	133,916
6：産業	76,855	2,577	2,375	81,807	80,350
7：芸術	123,271	7,793	15,185	146,249	143,634
8：言語	22,827	1,568	2,265	26,660	26,665
9：文学	213,818	67,037	47,022	327,877	324,807
童話	9	5,869	14,696	20,574	21,104
絵本	90	6,266	67,588	73,944	73,285
その他	59,061	0	3,975	63,036	62,918
計（冊）	1,280,520	132,130	195,681	1,608,331	1,586,477

### ○利用者登録者数

区分	
年間館内登録者数	3,751人
25年度末有効登録者数	*144,928人
団体貸出（団体）	4団体
読書会文庫（団体）	16団体
点字図書分室	27人

\*貸出利用可能な登録者数を記載

### ○点字図書分室 — 利用統計

（平成25年度） 〈単位：日・人・冊〉

月別	開館日数	入館者数	貸出冊数
H25 4月	14	185	26
5	20	285	45
6	18	169	36
7	17	305	45
8	18	169	16
9	19	284	59
10	21	267	48
11	18	218	31
12	15	225	28
H26 1	17	202	19
計	177	2309	353

\*点字図書分室の点字図書等は、平成26年2月12日に徳島県立盲学校に保管転換された。

### ○図書貸出冊数（平成25年度）〈単位：冊〉

区分	冊数	
個人貸出	図書	558,874
	洋書	1,658
	視聴覚資料	24,538
	逐次刊行物	41,875
	その他	3,903
	小計	630,848
協力貸出	図書館・図書館未設置町教育委員会	20,065
	県立学校	2,331
	小計	22,396
団体	団体貸出	336
	県立病院貸出	1,200
	ファミリー・サポート・センター貸出サービス	90
	読書会文庫	1,527
	小計	3,153
障がい者専用セット・DAISY	978	
点字図書分室	353	
貸出総数	657,728	

### ○県外相互貸借（平成25年度）

#### 【貸出】

	四国内	四国外	その他	合計
件数	377	417	9	803
冊数	640	579	12	1231

#### 【借受】

	四国内	四国外	国会図書館	その他	合計
件数	53	78	13	1	145
冊数	76	131	14	1	222

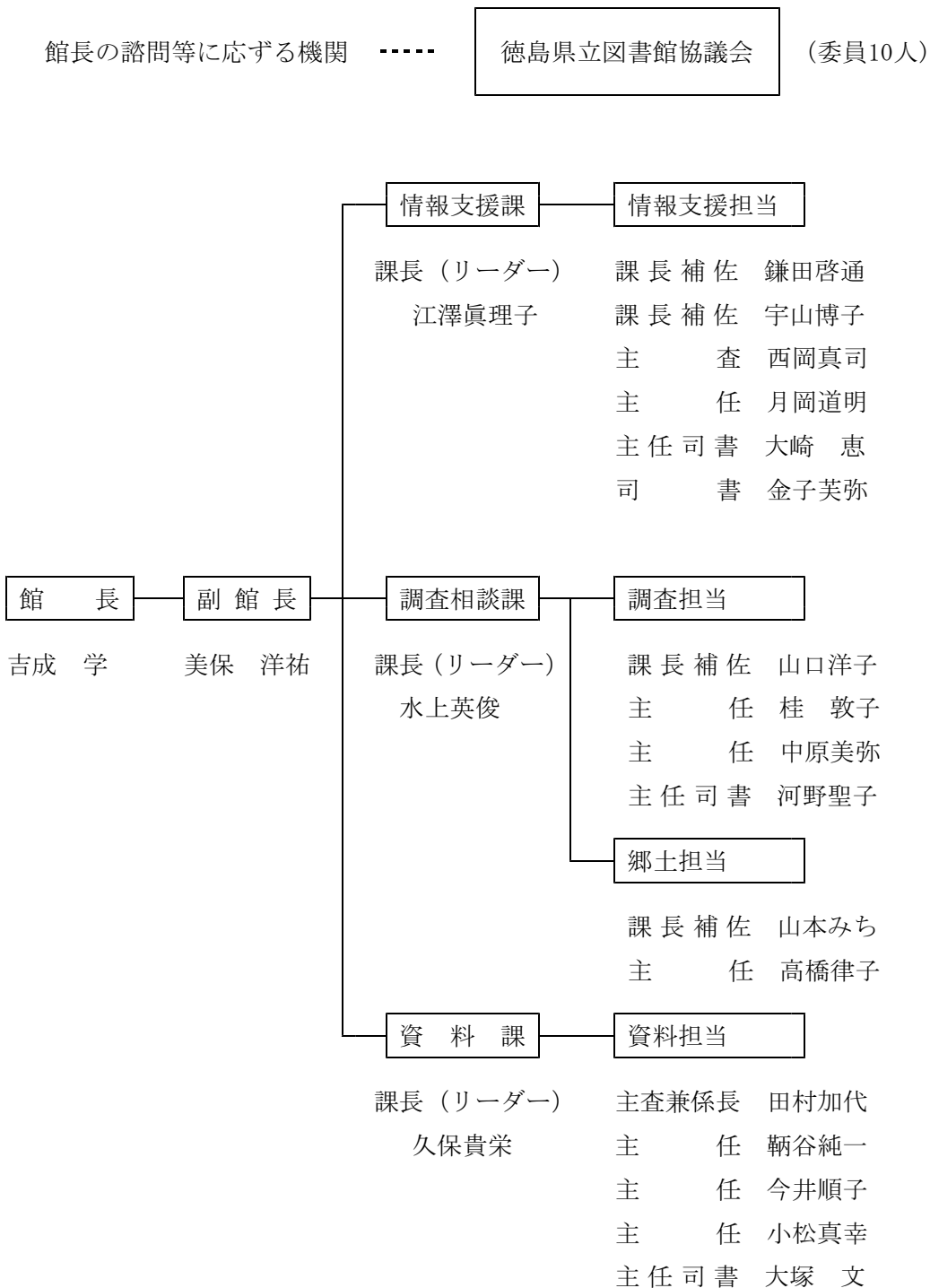
○月別利用状況 (平成25年度)

(単位：日・人・冊・回)

	開館 日数 (日)	登 録 者		貸出利用者		貸 出 冊 数		予約・リクエスト		参 考 質 問						
		月 計	日平均	月 計	日平均	月 計	日平均	月 計	日平均	口頭	電話	文書	メール	資料案 内	月計	日平均
4月	24	298	12	13,232	551	52,371	2,182	1,899	79	49	28	2	16	1,074	1,169	49
5月	26	344	13	14,242	548	55,574	2,137	2,230	86	72	50	2	6	1,193	1,323	51
6月	25	371	15	14,410	576	56,341	2,254	1,937	77	72	36	5	9	1,206	1,328	53
7月	25	459	18	15,272	611	58,728	2,349	2,081	83	67	48	8	6	1,205	1,334	53
8月	27	529	20	16,961	628	63,215	2,341	1,916	71	68	48	6	1	1,360	1,483	55
9月	24	304	13	13,994	583	53,801	2,242	2,008	84	51	46	1	5	981	1,084	45
10月	26	248	10	13,948	536	53,306	2,050	1,886	73	60	37	2	14	953	1,066	41
11月	25	283	11	14,259	570	53,708	2,148	1,858	74	65	40	1	12	1,071	1,189	48
12月	23	181	8	12,098	526	46,405	2,018	1,506	65	56	38	2	3	826	925	40
1月	18	245	14	11,091	616	43,068	2,393	1,414	79	40	27	5	5	910	987	55
2月	19	245	13	10,844	571	42,601	2,242	1,681	88	42	31	5	9	916	1,003	53
3月	25	244	10	13,089	524	51,730	2,069	1,876	75	56	30	3	9	1,034	1,132	45
合計	287	3,751	/	163,440	/	630,848	/	22,292	/	698	459	42	95	12,729	14,023	/
平均	24	313	13	13,620	569	52,571	2,198	1,858	78	58	38	4	8	1,061	1,169	49

# IV 管 理

## 1 組織機構・職員（平成26年4月現在）



## 2 施設・設備

### 建物の概要

- ◎ 建築面積 4,354.182㎡
- ◎ 延床面積 8,989.594㎡
- ◎ 構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造 地上3階 塔屋2階
- ◎ 収蔵能力 約120万冊

### <施設規模及び構成要素>

用途・分類	面積 (㎡)	用途・分類	面積 (㎡)
<開架スペース>	[4,085]	<管理スペース>	[1,393]
一般書架スペース	1,638	館長室	54
開架書架コーナー	1,305	事務室 (整理作業室)	411
ブラウジング	243	コンピュータ室	48
対面朗読室	13	会議室	87
ワークルーム	22	スタッフラウンジ	60
カウンター	55	集会室 (大)	122
こどもの本コーナー	566	集会室 (小)	65
開架書架コーナー	502	集会準備室	25
おはなしコーナー	37	控室	24
児童資料室	27	団体貸出室	39
新聞雑誌コーナー	370	図書整理室	74
参考資料コーナー	427	サービスヤード	122
開架書架コーナー	404	展示ロビー	82
研究室	23	応接室	35
郷土資料コーナー	422	警備員室	22
開架書架コーナー	355	更衣室(2)	22
マイクロリーダー室	27	湯沸室(2)	17
研究室	23	倉庫(2)	84
撮影室	17	<機械・設備スペース>	[693]
エントランスホール	204	機械室(5)	575
ロッカーコーナー	69	電気室	92
その他	389	ハロンガスボンベ室	26
<収蔵スペース>	[1,843]	<その他>	[975]
館内書庫	1,434	1階エントランス	225
館外書庫	349	その他	750
貴重書庫	60		
* 書庫は積層式になっているため、実質 3,626㎡ある。			

### 3 沿 革

年 月 日	事 項
大正 5 年 7 月 24 日	大正天皇即位記念として創立。徳島県立光慶図書館と称する。
大正 6 年 6 月 24 日	開館式を挙げる。
昭和 20 年 7 月 4 日	戦災により焼失する。
昭和 24 年 5 月 3 日	徳島県立光慶図書館を再建し、憲法記念館と称する。
昭和 25 年 3 月 13 日	火災により焼失する。
昭和 25 年 7 月 25 日	移動図書館車「文化バス」が巡回を開始し、館外奉仕活動を始める。
昭和 25 年 12 月 1 日	図書館法により、徳島県立図書館と称する。
昭和 28 年 11 月 3 日	館舎を再建し、館内奉仕活動を始める。
昭和 30 年 4 月 1 日	「文化バス」を「やまなみ号」と改称する。
昭和 37 年 3 月 18 日	移動図書館車「やまなみ 2 号」を増車、やまなみ 1 号・2 号となる。
昭和 41 年 7 月 24 日	創立 5 0 周年記念式典を挙げる。
昭和 43 年 4 月 1 日	徳島県憲法記念館規則が廃止され、徳島県立図書館規則が定められた。 会計規則の一部改正により、憲法記念館から県立図書館に改名された。
昭和 45 年 3 月 31 日	徳島県立図書館規則が廃止され、徳島県立図書館管理規則が定められた。
昭和 51 年 7 月 14 日	移動図書館車を廃車し、配本車「やまなみ 2 号」を新設する。
昭和 52 年 7 月 28 日	創立 6 0 周年記念大会を挙げる。
昭和 55 年 1 月 7 日	知事が、図書館、博物館の改築、美術館の建設を中核とした「文化の森」構想を発表する。
昭和 57 年 3 月 23 日	文化の森の建設が、徳島市八万町向寺山に決定された。
昭和 59 年 5 月 9 日	図書館基本構想検討委員会が発足する。
昭和 61 年 3 月 10 日	文化の森各文化施設の基本設計が完了する。
昭和 62 年 3 月 10 日	文化の森各文化施設の実施設設計が完了する。
昭和 62 年 6 月 25 日	創立 7 0 周年記念講演会を挙げる。
昭和 62 年 7 月 14 日	文化の森各文化施設の建設工事に着手する。
昭和 63 年 2 月 1 日	協力車「やまなみ」を新設する。(移動図書館事業の廃止による。)
平成元年 10 月 31 日	文化の森図書館棟の本体工事が竣工する。
平成 2 年 4 月 1 日	文化の森図書館へ移転のため休館する。
平成 2 年 11 月 3 日	文化の森図書館として新築開館する。
平成 7 年 10 月 17 日	文化の森開園 5 周年記念事業「ベストセラーでみる戦後展」を開催する。
平成 12 年 10 月 20 日	文化の森開園 1 0 周年記念「世紀末大博覧会」を 5 館共同で開催する。 図書館は、「海野十三の描いた未来」を担当する。
平成 17 年 10 月 22 日	文化の森開園 15 周年記念企画展「ふるさと再発見ー15 の人・もの・場所」を 5 館共同で開催する。図書館は、「岡本韋庵」の展示等を担当する。
平成 22 年 2 月 16 日	文化の森に移転後、来館者一千万人を達成する。
平成 22 年 11 月 23 日	文化の森開園 2 0 周年記念展「軌跡」と記念行事「文化の森大秋祭り！」を 5 館共同で開催、おはなし会と阿波学会ワークショップ等を担当する。
平成 23 年 4 月 1 日	貸出カウンターの業務委託を行う。

#### 4 歴代館長

就任年月日	館長	館長事務取扱
大正 5 年 7 月 26 日		県内務部長 広瀬直幹
大正 5 年 11 月 6 日		県内務部長 亀井光政
大正 6 年 3 月 31 日		県学務課長 林恒四郎
大正 6 年 10 月 10 日		県学務課長 確野千太郎
大正 10 年 3 月 17 日		司書 岩瀬亀之進
大正 10 年 3 月 31 日	岩瀬 亀之進	
大正 13 年 12 月 6 日		県学務課長 鈴木省吾
大正 13 年 12 月 20 日		県内務部長 小島庄吉
大正 14 年 1 月 9 日		県学務課長 松本三郎
大正 15 年 8 月 26 日		県社会教育主事 栖崎善一
昭和 2 年 2 月 14 日	坂本 章三	
昭和 13 年 9 月 22 日	今田 好太	
昭和 19 年 3 月 22 日		県青少年教育課 三好菊夫
昭和 19 年 4 月 25 日		県青年教育課長 沖田武雄
昭和 19 年 6 月 6 日	大岡 谷 幹 男	
昭和 20 年 4 月 26 日	原 島 武 夫	
昭和 22 年 8 月 31 日	蒲 田 池 正 夫	
昭和 24 年 5 月 3 日	藤 居 原 信 夫	
昭和 37 年 4 月 1 日	上 原 浩 一	
昭和 38 年 4 月 1 日	竹 田 俊 一	
昭和 44 年 4 月 1 日	喜 田 泰 臣	
昭和 50 年 4 月 1 日	高 井 静 雄	
昭和 52 年 4 月 1 日	石 堂 廣 光	
昭和 54 年 4 月 1 日	近 藤 俊 夫	
昭和 56 年 4 月 1 日	岩 佐 健 二	
昭和 58 年 4 月 1 日	岸 藤 裕 之	
昭和 61 年 4 月 1 日	芝 山 正 博	
昭和 63 年 4 月 1 日	山下 博 之	
平成 2 年 4 月 1 日	日 中 武 正	
平成 5 年 4 月 1 日	野 川 巖 正	
平成 7 年 4 月 1 日	中 武 巖 正	
平成 8 年 4 月 1 日	米 澤 靖 明	
平成 10 年 4 月 1 日	大 小 靖 明	
平成 11 年 4 月 1 日	福 田 隆 啓	
平成 13 年 4 月 1 日	松 島 昭 治	
平成 14 年 4 月 1 日	今 平 清 聰	
平成 15 年 4 月 1 日	桐 崎 本 春 一	
平成 16 年 4 月 1 日	早 見 義 憲	
平成 17 年 4 月 1 日		誠 樹 良 章
平成 18 年 4 月 1 日		行 学
平成 19 年 4 月 1 日	桑上 村野 秀忠	近代美術館長 阿部修三
平成 19 年 5 月 1 日	桑上 村野 秀忠	
平成 20 年 4 月 1 日	上 野 井 善 志	
平成 21 年 4 月 1 日	中 林 善 志	
平成 22 年 4 月 1 日	林 青 志	
平成 24 年 4 月 1 日	青 吉 成 学	
平成 25 年 4 月 1 日	吉 成 学	



## V 平成25年度行事記録

### 1 集会行事

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人員
4月26日	徳島県読書振興協議会正副会長会	会長・副会長	25年度役員について 25年度読書振興大会について 25年度理事会・総会について	9
5月10日	徳島県公共図書館協議会理事会	理事	24年度事業報告・決算、 25年度事業計画・予算	22
5月15日	第1回阿波学会理事会評議員会	理事 評議員	24年度決算、25年度計画	理10 評22
6月1日	初めての方のための読み聞かせ講座	講師： 余郷裕次氏	絵本の読み聞かせについての講義とワークショップ	52
6月5日	第1回徳島県図書館職員研修会	講師： 野澤新治氏 葉袋秀樹氏	講義「徳島市立図書館のあゆみ」 講義「『図書館の設置及び運営上の望ましい基準』制定の意義」	50
6月12日	徳島県読書振興協議会理事会 総 会	理事 —	24年度決算、 25年度事業計画	理22 総34
7月3日	第2回徳島県図書館職員研修会	講師： 國松完二氏	講義「それでも『貸出し』が基本です」	49
7月5日	平成25年度総合学術調査 レギュレーション	調査役員・班長 阿南市担当	調査テーマ・用品の確認 地元との協議	20
7月11日	徳島県公共図書館協議会 第1回研究・研修委員会	研究・研修委員	25年度図書館大会について 予約・リクエスト調査について	8
7月24日	出前講座 徳島県環境管理課 「大気についてのおはなし」	県環境管理課職員	小学3年～6年を対象に大気について学ぶ	17
7月26日	出前講座 徳島県水・環境課 「よごれた水のゆくえ」	県水・環境課職員ほか	小学3年～6年を対象に汚水処理について学ぶ	43
8月2日	平成25年度総合学術調査結団式	役員 各班調査員 講師： 古川良夫氏 ほか	講演 「阿南市内の天然記念物(植物)及び絶滅危惧種等について」	53

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人員
8月2日 ～11日	平成25年度総合学術調査	各調査班員	阿南市調査	97
8月18日	えいごのおはなし会 (文化の森サマーフェスティバル)	MEARNS TREVOR氏	英語の絵本の読み聞かせ	41
8月18日	図書館探検隊 (文化の森サマーフェスティバル)	児童担当	小学3年生以上を対象に、 図書館の事務室・書庫など ふだん入れない場所を案内	31
8月18日	おとなのための図書館ツアー (文化の森サマーフェスティバル)	イベント・広報 委員会	おとなを対象にふだん入 れない書庫などを案内	15
9月5日	徳島県読書振興協議会優良読書 グループ選考会	会長・副会長	全国及び徳島県の優良読書 グループ推薦団体を選考	8
9月12日	助産師さんと話そう！	徳島県助産師会	赤ちゃんと楽しむおはな し会関連企画	49
9月13日	徳島県公共図書館協議会 第2回研究・研修委員会	研究・研修委員	予約・リクエストの実態 調査の分析 図書館大会進捗状況	9
9月20日	第3回徳島県図書館職員研修会	講師： 濱田幸夫氏 南亮一氏	紹介「国立公文書館アジ ア歴史資料センターにつ いて」 講義「図書館サービスと 著作権」	62
9月25日	子どもの読書研修会	講師： 庄野昭子氏	「子どもといっしょに楽 しみたい絵本」	41
10月11日	第2回阿波学会理事会	理事	阿波学会創立60周年記念 式典について	11
10月20日	徳島県読書振興大会 (阿南大会：阿南市)	講師： 矢崎節夫氏	講演「今、こだますとき」 ／事例発表2題ほか	230
11月3日	秋のおはなし会 (文化の森大秋祭り)	県立図書館おは なし会ボランテ ィアスタッフ	絵本の読み聞かせ・紙芝居 ・パネルシアター・工作教 室を午前・午後の2回実施	25 42
11月3日	しおりを作ろう！ (文化の森大秋祭り)	イベント・広報 委員会	絵を描いて、自分だけの “しおり”を作成	60
11月3日	おとなのための図書館ツアー (文化の森大秋祭り)	イベント・広報 委員会	おとなを対象にふだん入 れない書庫などを案内	11

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人員
11月22日	徳島県立図書館協議会	協議会委員	24年度事業実績について 25年度事業の実施状況について 徳島県立図書館サービス 向上目標(第2期)の推進 ・評価についてほか	21
11月27日	阿波学会60周年記念誌 第1回編集委員会	編集委員	阿波学会60周年記念誌の 編集について	11
11月27日	「図書館を知ろう」資料検索講 座 郷土資料編 (会場：二十一 世紀館情報文化実習室)	講師：佐藤利晴 県立図書館職員	ホームページを活用して 探そう 郷土資料	6
12月14日	親子でたのしむクリスマスおは なし会	鳴門教育大学 人形劇団ころぼ っくる	人形劇、うたなど	67
12月4日 ～10日	「文化の森人権啓発展」 (文化の森6館共催) (会場：近代美術館1Fギャラリー)		「人権関係資料・識字関 係資料」を展示	356
12月6日	協力業務実務担当者会	実務担当者	県下の公共図書館間の協 力業務・相互貸借につい て	36
1月9日	助産師さんと話そう！	徳島県助産師会	赤ちゃんと楽しむおはな し会関連企画	22
1月24日	阿波学会60周年記念誌 第2回編集委員会	編集委員	阿波学会60周年記念誌の 編集について	12
2月18日	阿波学会60周年記念誌 第3回編集委員会	編集委員	阿波学会60周年記念誌の 編集について	12
2月20日	徳島県図書館大会・日本図書館 協会四国ブロックの集い テーマ：「地域との連携、まちづ くりと図書館」	講師： 嶋田学氏 山重壮一氏  報告者： 石田理恵氏 伊勢真実氏	講演：「まちづくりに役立 つ図書館活動とは」 講演：「地域づくりと図書 館の課題」 事例発表：「移動図書館・ いずみ号」 事例発表：「移動図書館ひ まわり号について」	91
3月7日	徳島県公共図書館協議会 第3回研究・研修委員会	研究・研修委員	来年度の研修について	8
3月13日	助産師さんと話そう！	徳島県助産師会	赤ちゃんと楽しむおはな し会関連企画	20

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人員
3月18日	阿波学会60周年記念誌 第4回編集委員会	編集委員	阿波学会60周年記念誌の 編集について	11

○ 共催集会行事 まなびの森講演会（毎月1回：放送大学徳島学習センターと共催）

期 日	講 演	講 師	内 容 等	人 員
4月13日	霊山寺創建時代の民衆及び行政の実態	講師： 沖野勝徳氏	「霊山寺」を中心に、霊山寺創建時代の地域的・時代的背景から、当時の集落の実態及び阿波と都との交流や行政組織等を通じた歴史観を述べた。	63
5月11日	老後を楽しく過ごす	講師： 古川明美氏	老後の設計対策について、住まい・健康・介護・資金・終末期に対して、何をどのように準備し設計対策をすればよいかを考えた。	61
6月15日	郡町（在方町）辻口について	講師： 湯藤章皓氏	徳島藩では農商分離の政策をとっていたが、辻口の嘆願書は許可された。嘆願書から、農村が貨幣経済の中に組み込まれていく過程を読み取った。	42
7月20日	子ども家族支援のいろは	講師： 木村直子氏	子どもと家族に関する問題の理解と対応を、社会学・心理学・福祉の学際的な「子ども家族支援」という視点から考え、検討した。	26
8月31日	i P S細胞って何だろう？	講師： 渡部稔氏	万能細胞と呼ばれるi P S細胞とは、いったいどんな細胞なのか、どのように発見され、どのような利用が期待できるのか、わかりやすく解説した。	60
9月28日	「モラエスの徳島」 －100年前モラエスが見たもの－	講師： 宮崎隆義氏	モラエス来徳100年に当たり、『徳島の盆踊り』をもとに、16年間、一市井人として徳島に暮らし骨を埋めたモラエスの内面を探った。	55
10月5日	三好一族の興亡	講師： 佐藤昭氏	三好一族が阿波国から発祥し中央に進出して天下人になり、やがて没落し滅びていく経緯について、また勝端城に関係する阿波三好氏について述べた。	65
11月9日	高齢者の交通安全	講師： 篠原一二三氏	高齢者の交通事故の実態と特性、原因、各方面における防止活動について話し、交通安全教育指導員で構成する「ひまわり劇団」の寸劇を体験した。	32

期 日	講 演	講 師	内 容 等	人 員
12月21日	南海トラフト地震・津波の被害様相と対策	講師： 中野晋氏	沿岸部、中山間地あるいは県北部、県南部、県西部、それぞれの地域の被害様相と対策について紹介した。	58
1月11日	四国遍路の宗教的特質	講師： 大石雅章氏	四国遍路の「修行」という伝統的宗教思想や「お接待」の意味など、遍路の歴史について語った。	77
2月22日	今日のわたしがいちばん若い！～今日から始めるライフデザイン	講師： 加渡いづみ氏	マイスタイル・マイサイズ・マイファイルで“わたし流”ライフデザインを考えた。	61
3月1日	薬食同源“科学者の目でみるおばあちゃんの知恵袋”	講師： 橋本敏弘氏	生活習慣病に効果のある食品、薬草(漢方薬)、キノコについて解説し、食に関する“おばあちゃんの知恵袋”を分かりやすく解説した。	66

## 2 展 示 事 業

期 間	展 示 名	展 示 内 容
2013年 3月12日～4月21日	「よりたかく よりはやく」 梅田俊作原画展 (東日本大震災関連行事)	絵本作家、梅田俊作さんの絵本「よりたかく よりはやく」の原画17枚を展示。あわせて県南部総合県民局作成の津波減災県南モデルの取組パネルも展示して紹介した。
4月23日～6月2日	「読んでみん？みんながすすめる本ーとくしまの子どものためのブックリスト100 コメント・POP受賞作品展ー」	平成24年秋から冬に徳島県教育委員会が募集した「とくしまの子どものためのブックリスト100」掲載本のコメントとPOPを、本とともに展示して紹介した。
6月4日～7月15日	「ほんの少し前の記憶ー郷土資料にかいま見る」	県内各地の風景、建物、祭りなど「その時」に記録された風景を郷土資料の表紙になった写真から拾って展示した。
7月17日～8月18日	「図書委員が選ぶ『おとな』に読んでもらいたい本」	県立学校の図書委員が、おとなに薦めたい本を選び、想いを綴った紹介文とともに展示した。 徳島県学校図書館協議会高校部会との共同企画展示。

期 間	展 示 名	展 示 内 容
7月17日 ～ 7月26日	汚水処理の普及啓発パネル展示	汚水処理施設の役割及び仕組みについてパネル展示し、出前講座「よごた水のゆくえ」を開催した。
8月20日 ～ 10月6日	兵庫県立図書館交流企画展 「兵庫県発！！ 震災・防災・減災～阪神・淡路大震災からの教訓～」	防災・減災意識を高めるため、兵庫県から、阪神大震災を教訓とした図書館資料や啓発パネル等を展示、観光、文化、歴史、産業など厳選紹介したポスター、チラシ等の展示・配布を行った。
10月8日 ～ 12月8日	「文学賞を読む」	日本国内におけるさまざまな文学賞受賞作品を紹介展示し、豊かな読書体験へ誘う機会とした。 第15回徳島県民文化祭共催事業 平成25年度とくしま教育の日関連事業
12月10日 ～ 2月16日	鳥取県立図書館交流企画展 「山陰海岸ジオパークの魅力を満喫！カニと温泉で鳥取の冬を楽しむ」	山陰海岸に生息する魚たちの写真パネル（中谷英明氏撮影）、鳥取県内の観光ポスター、観光パンフレットで、自然豊かな鳥取県の魅力を紹介した。
2月18日 ～ 4月20日	「見る・読む・調べる“新聞”」展	「新聞」をテーマに、日本の新聞の歴史や新聞用語の解説、徳島の明治期の新聞などを展示し、所蔵新聞一覧や新聞のデジタル化、契約データベースなどについても広報した。

## 平成25年度 ミニ展示

### 一般資料コーナー

期間	テーマ
5/10～6/2	本で旅する“世界遺産”
6/4～6/30	めざせ！健口・歯ッピーライフ
6/26～9/1	夏のレシピ
7/2～8/4	広告・ポスターの本
8/6～9/1	にっぽん“川”紀行
9/1～10/14	震災・防災・減災

期間	テーマ
10/16～11/17	ストップ!糖尿病
11/19～12/28	なつかしの歌謡曲
1/5～2/23	なつかしの歌謡曲(2) フォーク&ニューミュージック
2/25～3/19	女性の心とからだを考える
3/21～4/27	春～鳥のさえずりに誘われて

ブラウジングコーナー・エントランス

期間	テーマ
4/16～5/6	春のお弁当特集
9/10～9/29	オリンピックの本
10/1～10/14	追悼・山崎豊子
10/16～12/1	旅に出よう
12/10～12/28	祝！徳島ヴォルティスJ1昇格
2/7～2/23	オリンピックだ！がんばれニッポン

郷土

期間	テーマ
3/22～6/19	医～阿波医史～
6/21～8/11	自然とふれあいたい-徳島編-
8/13～9/29	活躍する徳島県人
10/18～12/1 12/3～12/28	岩村武勇文庫のご紹介 <第1弾・第2弾>
12/10～2/16	ジオパーク関連ミニ展示
1/7～1/26	森文庫ご紹介展
2/7～3/30	絵はがきで見る昭和初期の剣山～剣山 国定公園50周年記念
3/11～3/30	ガンバレ池田高校野球部！

児童担当企画展示

毎月の企画展示	ミニ展示
4月 「はる」のえほん	梅田俊作さんの本（3/12～4/21）
5月 「かぞく」のえほん	「とくしま子どものためのブックリスト100」の本 （4/23～6/9）
6月 「あめ」のえほん	世界遺産と富士山の本（5/2～6/2）
7月 「なつ」のえほん	ご寄贈いただきました（ヒューマンボランティア協 会寄贈 大型絵本、エプロンシアター等）（7/3～7/15）
8月 「おばけ」のえほん	読書感想文・自由研究に役立つ本（7/19～9/8）
9月 「おいしい」えほん	戦争と平和の本（7/19～9/8）
10月 「しごと」のえほん	夏休み出前講座関連の本（7/23～8/4）
11月 「きょうはなんのひ？」	オリンピックの本（9/10～9/29）
12月 「クリスマス」のえほん	2013年前半に出版された絵本（9/26～10/6）
1月 「ふゆ」のえほん	日本絵本賞受賞作品ほか（10/8～12/8）
2月 「ちいさなえほん」	やなせたかしさんの本（10/13～11/20）
3月 「はる」のえほん	ご寄贈いただきました（徳島県生命保険協会寄贈絵 本）（2/7～2/16）
	2013年後半に出版された絵本（2/24～3/9）
	ソチオリンピック（2/7～2/23）
	まどみちおさんの本（2/28～4/6）

<データで見る徳島県立図書館の現状>

年度	H21	H22	H23	H24	H25	
開館日数(日)	288	287	289	288	287	
入館者数(人)	529,592	506,861	499,127	430,709	433,917	* 累計11,928,202人、 H17から平日火～金は 19:00まで開館
登録者数(人)	5,469	5,259	5,119	3,768	3,751	* 累計144,928人(有 効登録者数)
個人貸出冊数(冊)	887,914	834,680	817,680	684,626	630,848	
協力貸出冊数(冊)	20,113	19,942	21,326	20,081	20,065	* 市町村立図書館等 への貸出(図書館未設 置は教育委員会へ)
高等学校・支援学校図書 館協力貸出冊数(冊)	1,507 (21校)	3,291 (19校)	2,469 (22校)	2,611 (23校)	2,331 (23校)	* 県立学校図書館へ の貸出(利用校数)
県外相互貸借冊数(冊) (内、貸出冊数)	984 (767)	1,382 (1,216)	1,505 (1,315)	1,455 (1,294)	1,453 (1,231)	
リクエスト件数	19,585	19,389	24,319	20,777	22,292	
レファレンス件数	16,142	10,078	10,089	11,983	14,023	
蔵書冊数(冊)	1,118,073	1,134,747	1,150,189	1,164,014	1,175,434	* 雑誌・視聴覚資料を 除く
購入図書(冊)	11,692	14,633	12,658	11,870	13,843	* 雑誌・視聴覚資料を 除く
雑誌購入種数	334	332	324	323	332	* 官報1を含む
新聞購入種数	34	34	37	34	39	
資料充実費(千円) 内、図書購入費(千円)	32,305 26,000	37,105 30,800	33,505 27,200	32,305 26,000	35,305 29,000	
人口1人あたり図書購 入費(円)	32.95	39.25	34.81	33.50	37.62	
人口1人あたり貸出数 (冊)	1.13	1.06	1.05	0.88	0.82	
人口1人あたり蔵書数 (冊)	1.42	1.45	1.47	1.50	1.54	
県人口(人)	789,146	784,725	781,348	776,177	770,831	* 県人口は、「徳島県 推計人口」当該年度4 月1日時点の推定人口



## 徳島県内市町村立図書館一覧

(横断検索可能館)



	図書館名	住所	電話番号 FAX番号	開館時間	休館日 (年末年始・特別整理期間以外)
1	徳島市立図書館	〒770-0834 徳島市元町1-24 アミコビル5F6F	088-654-4421 088-654-4423	9:00～21:00	第1火曜
2	鳴門市立図書館	〒772-0011 鳴門市撫養町大桑島字蛭子山49	088-685-0255 088-686-6589	9:00～18:30 土・日 9:00～17:30	月曜・祝日・月末
3	生涯学習センター 小松島市立図書館	〒773-0001 小松島市小松島町字新港29-11	0885-32-1100 0885-32-7188	10:00～18:00	月曜・月末 祝日(5/5,11/3除く)
4	阿南市立 阿南図書館	〒774-0011 阿南市領家町本荘ケ内121	0884-23-2020 0884-23-6814	9:00～18:00 土・日 9:00～17:00	月曜・祝日・月末
5	那賀川図書館	〒779-1235 阿南市那賀川町苧屋308-1	0884-42-3111 0884-42-3299	10:00～18:00	月曜・祝日・月末
6	羽ノ浦図書館	〒779-1101 阿南市羽ノ浦町中庄上ナカレ16-3	0884-44-2100 0884-44-2099	10:00～18:00	月曜・祝日の翌火曜 月末(土日月の時金曜)
7	吉野川市立 山川図書館	〒779-3404 吉野川市山川町北島19-7	0883-42-5222 0883-26-4101	10:00～18:00	月曜・祝日・月末
8	川島図書館	〒779-3303 吉野川市川島町桑村883-1	0883-25-3141 0883-25-5382	10:00～18:00	水曜・祝日 月末
9	阿波市立 阿波図書館	〒771-1703 阿波市阿波町東原167-1	0883-35-5101 0883-35-5109	9:00～19:00 9:00～18:00(10～3月)	月曜・月末
10	市場図書館	〒771-1602 阿波市市場町市場字上野段212-2	0883-36-6455 0883-36-6456	9:00～19:00 9:00～18:00(10～3月)	月曜・月末
11	土成図書館	〒771-1506 阿波市土成町土成字漆畑220	088-695-5385 088-695-5515	9:00～19:00 9:00～18:00(10～3月)	月曜・月末
12	吉野笠井図書館	〒771-1402 阿波市吉野町西条字大内13	088-696-4686 088-696-5139	9:00～19:00 9:00～18:00(10～3月)	月曜・月末
13	美馬市立 脇町図書館	〒779-3610 美馬市脇町大字脇町154-1	0883-53-9666 0883-53-6190	9:00～19:00	火曜 第3木曜
14	三好市 中央図書館	〒778-0002 三好市池田町マチ2183番地	0883-72-2781 0883-76-0514	10:00～19:00	水曜
15	井川図書館	〒779-4802 三好市井川町岡野前64	0883-78-4311 0883-78-4305	9:00～19:00	火曜
16	勝浦町図書館	〒771-4305 勝浦郡勝浦町大字久国字久保田2-1	0885-42-2300 0885-42-4900	9:30～18:00	月曜・月末
17	佐那河内村立図書館	〒771-4101 名東郡佐那河内村下字中辺71-1	088-679-2817 088-679-2173	8:30～17:00	土曜・日曜・祝日
18	那賀町木頭図書館	〒771-6403 那賀郡那賀町木頭和無田字マツギ40	0884-68-2226 0884-68-2566	9:30～18:00 土 9:30～17:00	日曜・祝日(5/4除く)
19	美波町日和佐図書 ・資料館	〒779-2305 海部郡美波町奥河内字弁才天5-1	0884-77-2733 0884-77-0845	10:00～18:00 土・日 10:00～17:00	月曜・祝日
20	牟岐町立図書館	〒775-0004 海部郡牟岐町大字川長字新光寺82	0884-72-2300 0884-72-3301	10:00～18:00	月曜・第3木曜 祝日
21	海陽町立 海南図書館	〒775-0202 海部郡海陽町四方原字旭町38-1	0884-73-3591 0884-73-3551	10:00～18:00	月曜・祝日・月末
22	穴喰図書館	〒775-0501 海部郡海陽町穴喰浦字穴喰375	0884-76-1030 0884-76-1040	10:00～18:00	月曜・祝日・月末
23	松茂町立図書館	〒771-0220 板野郡松茂町広島字四番越6-1	088-699-8722 088-699-8784	10:00～18:00	月曜・月末
24	北島町立図書館	〒771-0207 板野郡北島町新喜来字南古田91	088-698-1100 088-698-1180	10:00～18:00	月曜・第3木曜 祝日(土日の時は開館)
25	藍住町立図書館	〒771-1202 板野郡藍住町奥野字猪熊175-2	088-692-0070 088-692-0170	10:00～18:00	月曜・祝日 第3木曜
26	板野町文化の館 図書館	〒779-0108 板野郡板野町犬伏字東谷13-1	088-672-5888 088-672-5999	10:00～18:00	月曜・祝日・月末
27	東みよし町立図書館	〒779-4702 三好郡東みよし町西庄字横手51	0883-82-1150 同上	10:00～18:00(4-9月) 10:00～17:30(10-3月)	月曜・火曜 祝日・月末(土・日除く)

## 徳島県立図書館案内図

- J R 徳島駅から／徳島市営バス・徳島バス利用（約 25 分）
- J R 牟岐線文化の森駅から／徒歩（約 35 分）



### 開館時間

- ・ 火曜日から金曜日まで ..... 午前9時30分から午後7時まで
- ・ 土曜日、日曜日及び祝日（振替休日を含む。） ..... 午前9時30分から午後5時まで

### 休館日

- ・ 月曜日  
ただし、国民の祝日（振替休日含む）のときは、その後最も近い休日でない日
- ・ 毎月第3木曜日（国民の祝日にあたるときは、その翌日）
- ・ 年末年始
- ・ 特別整理期間（年間10日間以内、例年1月下旬から2月上旬まで）
- ・ 臨時休館日

# 徳島県立図書館サービス向上目標（第2期）

～県立図書館サービスの次の展開に向けて～

平成24年3月

徳島県立図書館は、平成19年3月の「徳島県立図書館サービス向上目標～地域の情報拠点を目指して～」において、社会の変化と県民の要請に応える役に立つ図書館を目指した5年間のサービス目標を設定し、業務をすすめてまいりました。

この5年間の活動を踏まえた上で、この度、新たな5年後に向けて、県立図書館が目指すべき目標の再検討を行いました。

厳しさを増した社会的経済的状況のなか、地域社会と県民の要請にこたえる図書館サービスをすすめるため、県立図書館は改めて「県の中核図書館」という役割・機能の再確認を行い、県立図書館として果たすべき役割・機能を重視したサービスを展開します。

## 県立図書館の役割

徳島県の図書館ネットワークの中核として、広域的かつ総合的な視点で、県民のさまざまなニーズや課題に的確に対応し、県全体の図書館サービスの向上を図ります。

## 県立図書館の目標

県内全域  
サービス

専門性を  
発揮した  
サービス

地域資料の  
拠点

県民の  
課題解決の  
支援

## 1 県内全域サービス

県立図書館は、市町村立図書館への支援を第一に、各種図書館を含めた図書館網の整備、県外図書館との連携の中心拠点、子どもの読書活動の推進など、徳島県内全域を視野に入れた広域サービスをすすめます。

### (1) とくしまネットワーク図書館

蔵書横断検索参加館を拡充し、県民がいつでもどこでも同等の図書館サービスを利用できることを目指した「とくしまネットワーク図書館システム」による県内図書館網の整備充実を図ります。

### (2) 市町村支援

- ① 市町村立図書館、図書館未設置町への協力車の毎週運行により、県内図書館間の協力貸出、相互貸借を支援します。
- ② 市町村立図書館では解決できないレファレンスへの支援をすすめます。
- ③ 図書館の紹介やイベント情報を県立図書館のホームページ上に集約し、県内図書館情報を発信します。
- ④ 「とくしまネットワーク図書館システム」を使った県内図書館職員への情報提供を充実させます。

\* レファレンス＝利用者の質問に対して、情報や情報源を提供すること。

### (3) 子どもの読書支援

- ① テーマに応じたリストの作成や子どもの本に関するレファレンス事例の公開など子どもの本に関するレファレンスを充実させます。
- ② 子どもの本の資料センター的機能を目指します。
- ③ 調べ学習用図書の充実や、県立学校への協力貸出、協力レファレンスなど学校図書館を支援します。

### (4) 大学図書館、県外図書館との連携拠点

- ① 県の中核図書館として、館種を超えた図書館ネットワークを推進します。
- ② 国立国会図書館をはじめとする、県外図書館とのネットワークの拠点となります。

## 2 専門性を発揮したサービス

県立図書館は、県民が日常的に利用する市町村立図書館との役割分担を意識し、専門性を発揮したサービスを展開していきます。

### (1) 専門的収集

県全体で資料を効率的に収集、活用するため、市町村立図書館では収集しない、専門性・学術性に重点をおいた資料収集を行い、将来の利用を見据えた蔵書構築を図ります。

### (2) レファレンスサービスの充実

資料と検索技術に精通した司書の専門性を活かし、ニーズに迅速かつ的確に対応するレファレンスサービスの充実を図ります。

### (3) 情報検索ツールの充実

時宜に応じたパスファインダーの作成など、県民が自ら資料・情報にアクセスすることをサポートします。

\* パスファインダー＝特定のテーマに関する文献、情報の探し方、調べ方の案内リーフレット

### (4) 情報化への対応

レファレンス協同データベースへの事例データの登録、さまざまなデータベースやホームページを横断的に調べられる「調べ物ナビ」の充実など、情報サービスの充実と利用の促進を図ります。

\* レファレンス協同データベース＝国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している調べ物のためのデータベース

### (5) 職員研修

県内図書館職員のスキルアップのための研修会を開催するとともに、県内図書館関係者の求めに応じ職員を講師として派遣するなど、県図書館界のレベルアップに努めます。

### 3 地域資料の拠点

県立図書館は、徳島に関する幅広い資料の充実に努めることはもちろん、所蔵資料のデジタル化による利便性の向上や、県の資料保存センターとしての機能充実を図ります。

#### (1) 地域資料収集

- ① 徳島に関する資料、県出身者に関する資料、地域行政資料などの網羅的収集に努めます。
- ② Web情報のみで公開される逐次刊行物を、プリントアウトやアクセス確保等により、収集・保存します。

#### (2) 地域資料のデジタル化

資料を次世代へ継承するために、当館が所蔵する古記録、新聞のデジタル化を行います。また、可能なものはWeb上で公開することで、地方史研究などのための利用環境を整え、本県のPRにも努めます。

#### (3) 郷土レファレンスの充実

調査相談の事例をはじめ、郷土に関するさまざまな事項や人物のデータベースをWeb上に公開し、調査研究活動を支援します。

#### (4) 資料保存センター機能

県内市町村立図書館からの移管資料受け入れなど、資料保存センターとしての機能を充実させます。

### 4 県民の課題解決の支援

県立図書館は、利用者からの求めに応じた資料提供だけでなく、県民の潜在的なニーズに応えられる能動的な取り組みを充実させます。

#### (1) 子育て支援

子育て中の保護者のための、子育てに役立つ図書・雑誌、子育て支援機関情報など、子育てに関する資料を集めた「子育て支援図書コーナー」の充実に努め、子育て世代を応援します。

#### (2) 行政支援

県の重要施策を図書館において広報する県政情報テラス事業や、議会図書室・行政機関職員からの調査相談にこたえる行政レファレンスなどの行政支援に努めます。

#### (3) 健康医療情報提供

県民に関心の高い糖尿病の図書など、健康や医療に関する資料・情報を提供します。また、健康相談コーナー等、関連機関と連携した事業をすすめます。

#### (4) 就職・仕事支援

進路検討に役立つ資料、県内企業・産業の紹介、就職関連セミナー案内など、若者の就業活動を支援する「しごと応援コーナー」の資料・情報を充実させます。

#### (5) テーマ展示

県民に関心の高いテーマ、タイムリーなテーマに即した資料展示による情報発信を行います。

### 徳島県立図書館数値目標

図書館法に基づいた図書館評価を行うため、以下の項目を数値目標として掲げ、評価を行います。

		平成24年度実績	平成27年度目標	
1	レファレンス件数	11,983件	15,000件	
	郷土	515件	500件	
	市町村	101件	160件	
2	レファレンス事例公開件数	668件	700件	
3	パスファインダー事例公開件数	10件	50件	
4	資料デジタル化件数	369件	2,500件	* Web公開件数 年報1 紀要1
5	県立図書館ホームページアクセス数	190,382件	205,000件	
6	県内横断検索参加数	82% (23館/28館)	100% (27館/27館)	
7	県内公共図書館個人貸出冊数	4,129,301冊	4,200,000冊	

#### \* 図書館法 第7条の3

(運営の状況に関する評価等)

図書館は、該当図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

徳島県立図書館 年報 平成26年度版

発行日 平成26年6月1日

発行人 〒770-8070

徳島市八万町向寺山

文化の森総合公園

徳島県立図書館

館長 吉成 学

TEL (088)668-3500 (代)

FAX (088)668-6904

---

